

## 株主の皆様へ。

株主の皆様におかれましては、  
ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。  
2007年度 中間期（2007年4月1日～2007年9月30日）の  
事業概況についてご報告申し上げます。



取締役社長

# 梶尾和雄

## 当中間期の業績概要

当中間期におけるわが国経済は、企業収益の改善やそれに伴う設備投資の増加により、景気は回復基調を示し、堅調に推移しましたが、サブプライムローン問題に端を発する米国経済の減速、また同問題による金融市場の混乱、原油価格の高騰など世界経済の先行きに不透明感を残しました。

このような環境のもと、当グループは経営目標の達成に向け、デジタルカメラ、時計、電子辞書、携帯電話などの戦略事業を強力に推進・展開しました。デジタルカメラ、時計、電子辞書は昨年引き続き好調に推移しましたが、携帯電話が前年同期実績を超えることができず、また部材の調達不足が生じたことから減収となりました。その結果、当中間期の売上高は2,942億円となりました。

損益については、エレクトロニクス機器事業がデジタルカメラの増収に伴う増益と電波時計、電子辞書における商品力の強化による付加価値の改善を図りましたが、携帯電話の減収、情報機器部門の単価下落影響などの要因により、営業利益は177億円となりました。デバイスその他事業はTFT液晶の単価下落とカシオマイクロニクス（株）の減益の影響を受けました。この結果、連結合計として137億円となりました。また、経常利益は105億円、中間純利益は54億円となりました。

当中間期の業績は上記の通りとなりましたが、下期には携帯電話事業が強力な新製品の投入により増収に転じることが見込まれるほか、各事業における積極的な施策の推進によって収益性の向上に努めます。

## CONTENTS

### ■ 業績のご報告

- 1 ごあいさつ
- 2 業績・全般概況
- 3 業績ハイライト（連結）
- 4 部門別の概況（連結）
- 7 通期の業績見通し
- 8 中長期的経営戦略

### ■ 現在の動向

- 9 当中間期の事業活動
- 11 注目ニュース
- 13 ユニークCASIO
- 15 CSRへの取り組み

### ■ DATA

- 17 財務情報
  - 21 株式情報
  - 22 会社情報
- 裏表紙 株主メモ